

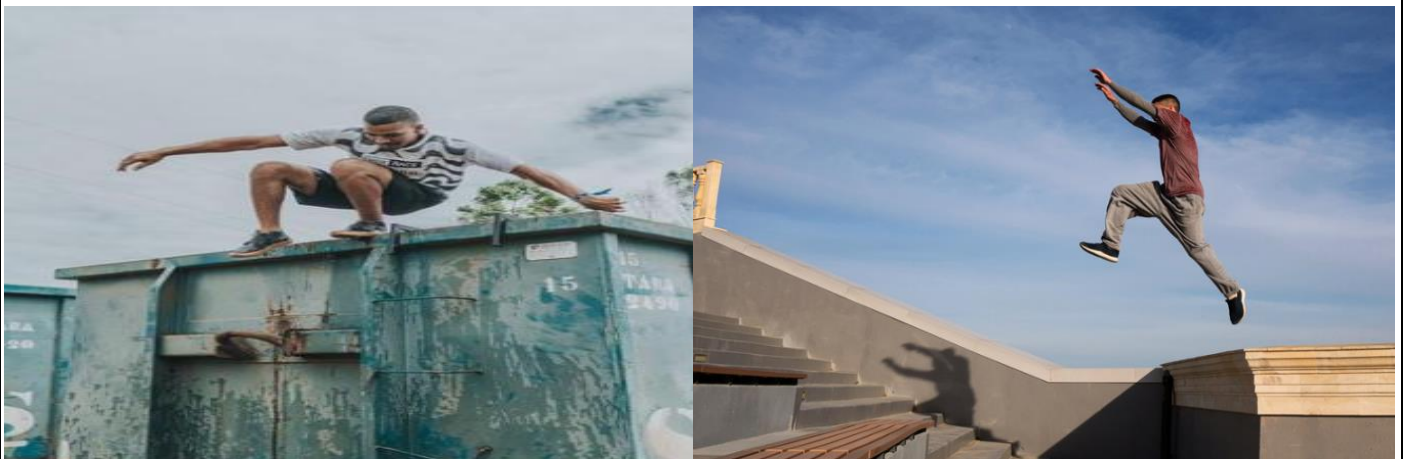


# 体育 & 研究通信



令和6年9月26日(木) 体育CO 第10号

明日は、第1学年「跳び箱を使った運動遊び」の研究授業です。1年生の授業の中で、どのように自己決定の場を設定するのか、対話的な活動をどう工夫するのかなど、牧子先生・睦子先生と一緒に考えながら授業づくりをすすめてきました。以下に考えた工夫についてまとめます。



- 跳び箱だけではなく、他の用具（マット、平均台）も活用して「パルクール遊び」とする。
- 跳び箱を跳ぶために必要な動きを遊びの中から身に付けられるようにする。
- 友だちの動きをグループで観察する場面を設定する。
- 遊び方（跳び方、着地、転がり方）を選択できるようにする。
- 踏み切り、着手、着地の仕方も安全面の観点から指導する。
- 全員が考えを発表できるように、ふり返りを少人数で行う。